

和地域づくりの会 会報

第16号

発行：和地域づくりの会
和コミュニティセンター内
東御市和 2628
TEL/FAX：62-0201
印刷：あさま印刷

和地域づくりの会が
目指す
和地区の将来像

- ❖ 若者や子育てしている世代が幸せを感じられる地区
若者が定住し、結婚・出産・子育てがしやすいまちづくりを目指します
- ❖ 観光と農業・農村が共存共栄できる地区
農業や景観などの地域資源を活用したまちづくりを目指します
- ❖ 多様な世代が運営を支え、郷土愛を持てる地区
伝統行事、近所づきあい、支え合いが盛んなまちづくりを目指します



今年の干支『巳』
(社会教育団体講師：高橋麦宇さん書)

和地域づくりの会

会長 田中節夫



日頃より和地域づくりの会、諸活動に対し、ご理解とご協力を賜り感謝とお礼を申し上げます。

10月に生活福祉部と市が連携して、39名の東御市に移住されている方やこれから移住を検討している方と交流会が行われました。移住体験交流施設「102」を利用された方も大勢いらっしゃいました。当日は、ごみ分別・草刈り・薪割り・ピザ作りなど

のワークショップ体験と懇親をかねたバーベキューが行なわれ、交流を深めることが出来ました。地域おこし協力隊の波多江淳子さんに主導、協力をいただき、和小学校4年生の里山体験学習、児玉山登山で、小枝・どんぐり・松傘などの工作材料を袋一杯に集め、11月のふれあい文化祭にも作品が出品されました。自然の中で、遊び学び思い出作りの大切さを感じてもらえればと思います。

身体教育医学研究所「学習ひろばTOMI」やまぼうし自然学校との協力で、未就学児親子参加のこども森作り体験会が8月、11月に行われました。参加者は双方サポーター合わせ60名を超え、森あそび・あそび場づくり・野外クッキングなどで親子ともに自然の中で一日を楽しむ事が出来ました。

和地区の将来像「地域ビジョン」の冊子が作成から10年程経過した為、一部案を改正し、令和7年の発行に現在取り組んでいるところです。

結びに時節柄寒さ厳しき折、ご自愛のほどご祈念申し上げます。



《地域づくり懇談会》
10月21日、地域づくりの会役員、区長会等多数参集のもと、「地域づくり懇談会」が開催されました。

当日は、地域ビジョン実現のための地区からの要望として、昨年に続き「児玉山遊歩道整備」と「旧和和学校記念館周辺の整備事業」、また、空き家対策などのテーマに沿った、入念な懇談が行われました。

児玉山プロジェクト活動報告

和地区里山整備プロジェクトチーム

事務局 波多江 淳子
(地域おこし協力隊)



和地区里山整備プロジェクトチームは昨年度発足10人から今年度は16人に増員し、地域の方にも関わってもらいながら里山環境整備を進めております。

和小学4年生は山に放置されてしまっているゴミに問題意識を向け、6月5日にはゴミ拾いをしてくれました。(U CVレポート6月12日で活動の様子をご覧ください)「多くの方に訪れてもらうためにきれいな里山を維持したい」と解決に向けたチームもでき、また、ゴミなし地蔵も設置され、今後は看板等での呼びかけも予定しています。

6月8日には地域振興部会とともに、遊歩道に倒れてしまっていた30本程の木を除去・整備を行いました。

6月中下旬に熊の目撃情報が周辺で続き、予定していた4年生の登山開催を見送っていましたが、その間、学校でも熊の対策など話し合い、保護者の方にも声をかけてもらい、7月22日に多くのサポーターとともに初登山を開催することができました。



夏季は草刈りを中心に遊歩道や駐車場まわりを整備しつつ、広場の整備等について会議も重ねてきました。地域の多様な世代に関わってもら

いたく、未就学児の親子を対象にこどもの森づくりプロジェクトを新たに試み、8月17日にキックオフ体験会を開催し、親子12組、サポーター入れて計60人以上に参加いただきました。やまぼうし自然学校のスタッフの方にご指導いただきながら、小さなこどもも大人と同じようにヘルメットをかぶって、のこぎりで木を切ったり、小枝や下草刈りをしたりと、森づくり(整備)を行い、ほとんど手付かずだった場所を、あつという間にきれいな広場に、心地よい環境にすることができました。森の整備だけでなく、地域のこどもたちに自然を体験してもらいたく、身体教育医学研究所・里山探検ス



親子参加型で森づくり(8月)



整備した広場で記念写真(8月)

安全な里山整備のために、9月には刈り払い機、10月にはチェーンソーを用いて、林業士を講師にお招きし安全講習を受けました。

和小学4年生は9月は図工で使う木材採しに児玉山を訪れ、10月は児玉山へタレットをもってテーマごとに調査に入ってくれました。テーマは休憩スペースやイベント、宣伝チームなどに分かれ、いろんな人が児玉山に来てもらえるようにチームごとに考えてくれています。今後は間伐が必要な木を伐採する様子を見学し、伐採した木を活用した看板づくり等のプロジェクトを



チェーンソーを用いた里山整備安全講習(10月)



児玉山の木を活用して坂道に階段を作りました(11月)



活動の様子は市HPのウィークリーとうみ11月22日号でご覧いただけます

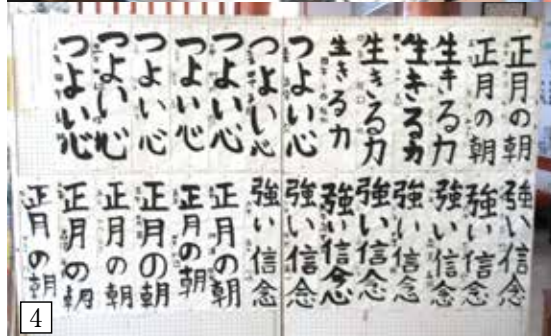
をはじめ、児玉山山頂までハイキング、野外クッキングなど自然の中での体験を通して、0歳児から子育て世代、シニア世代まで多様な世代の交流の場にもなっています。

今後は、子どもたちも楽しみの森づくりプロジェクトの第二弾を開催(参加者60人)。あそび場づくり(森の整備)

編集後記

会報第16号が発行の運びとなりました。ご家族団らんの一コマにお宝満載の地域の話が登場する。会報がそんな役割を担えたらと願ってやみません。身近な話題がありましたら、提供いただければ幸いです。

和地域づくりの会・広報委員一同
☎ 62-0201



◎子どもたちの夢と希望を叶える催し
《魚つかみ&料理教室&書初め》
7月28日、おやじの会・和小平TAの皆さんとの共催のもと、せせらぎ水路で魚つかみ取り大会が行われ、昼食にはそうめんなどが振る舞われ、楽しいひと時を過ごしました。(写真①)
小学校夏休みの8月4日、JA生活サポーターの方を講師に親子料理教室が行われ、参加者みなでおいしさを作りました。(写真②)
年明け、新春を迎えた1月6日、社会教育団体『書の集い』の高橋麦宇先生を講師に新春書初め大会が開催さ



れ、和小学校の児童27名が課題の文字に挑戦しました。(写真③)
全員の力作は、昨年に続きコミュニティセンターの玄関ホールに展示しました。(写真④)

地域づくりニュース

各部会等の話題を追って

ふれあい文化祭



和地区分館長会

会長 小林 誠

◎令和6年の振り返り

コロナ禍も明け、各種の事業イベントが少しずつ復活し、本来の姿に戻りつつある一年でした。

6月23日に開催された【分館球技大会】は、ソフトボール・ビーチボール・マレットゴルフの3競技を予定していましたが、雨天のためビーチボールのみの開催となり残念でしたが、選手のはつらつとしたプレーに、応援の皆様も一緒に、楽しく分館交流を図ることができました。

11月17日には和コミュニティセンターを会場に、第24回【ふれあい文化祭】が開催され、恒例の作品展示（生涯学習講座・分館・地域・保育園児・小学校児童等）やステージ発表のほか、今年も併設の「竹内不忘展」や和学校記念館の特別開放、子どもチャレンジコーナーが行われました。その他に、綿あめ・野点（のだて）・手打ちそばも振る舞われました。大変多くの皆様にご来場いただき、楽しい時を過ごされていました。

この一年間、ご協力を賜りました分館長各位並びに関係された皆様方に、改めて感謝とお礼を申し上げます。

分館球技大会



ふれあい文化祭



ステージ発表

